

令和4年度 国有林モニター会議を開催

令和4年10月25日(火)、木曽森林管理署管内において、現地説明会を3年ぶりに開催し、20名の国有林モニターの方々にご参加いただきました。

午前中は、日本美しい森 お薦め国有林に選定されている木曽郡上松町(あげまつまち)の「赤沢(あかさわ)自然休養林」において、木曽森林管理署長から署管内の概要について説明した後、日本三大美林の一つである木曽ヒノキを中心とした木曽五木(ごぼく)(ヒノキ、サワラ、アスナロ、ネズコ、コウヤマキ)が林立する休養林内を散策し、人工林と天然林の違い、木曽の巨樹などをご覧いただきながら、森林の歴史や管理方法などについて、森林技術指導官から説明を行いました。



人工林と天然林の違いについて確認



荻原土場を見学

午後は、地域で伐採された丸太が集まる「荻原土場(おぎわらどば)」へ移動し、丸太の自動選別機や土場の使用用途についての説明を企画官が行い、その後、「木曽官材(かんざい)市売(いちうり)協同組合」へ移動し、木材の市売りについてご説明いただき、地元の各工場で製材された製品が並ぶ展示場にて、セリの模擬体験をさせていただきました。

最後に令和3年に新築された「木曽町役場」を訪問し、地元で産出された木材がふんだんに使用され、木のぬくもりを感じる庁舎や冷暖房用の木質バイオマスボイラー施設を見学させていただきました。

モニターの皆様からは、「木材の伐採、流通、使用までの一連の流れがよく理解でき、大変勉強になった」「歴史を感じ、長い目で見て林業という産業をなくしてはならない」「丸太をサイズ毎に自動選別する仕組みが面白い」「木材のセリ体験が初めてで楽しかった」「木曾森林管理署職員の説明が特に良かった」といった感想が聞かれました。



紅葉が見頃な赤沢自然休養林内を散策

今回の現地説明会を通して、国有林モニターの皆様からいただいたご感想、ご意見を、今後の国有林野の管理経営に活かすよう努めてまいります。